

**港湾整備特別会計 特定港湾施設工事勘定
平成17年度特別会計財務書類の概要**

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	0	0	0				
未収金	0	0	0				
有形固定資産	0	0	0				
国有財産(公共用財産を除く)	0	0	0				
物品	0	0	△0	負債合計	-	-	-
無形固定資産	0	0	△0	< 資産・負債差額の部 >			
その他の資産	4	5	0	資産・負債差額	5	6	0
資産合計	5	6	0	負債及び資産・負債差額合計	5	6	0

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
エネルギー港湾施設工事費	9	6	△3
鉄鋼港湾施設工事費	-	0	0
港湾整備勘定への繰入	0	0	0
庁費等	0	0	0
減価償却費	0	0	△0
資産処分損益	0	0	0
本年度業務費用合計	10	7	△2

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	7	5	△2
本年度業務費用合計(A)	△10	△7	2
財源(B)	8	8	△0
自己収入	5	5	△0
他会計からの受入	2	2	0
資産評価差額	-	0	0
本年度末資産・負債差額	5	6	0
(参考) (A)+(B)	△2	0	2

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支(7)	0	0	0
財務収支(イ)	-	-	-
本年度収支(7+イ)	0	0	0
翌年度歳入繰入	0	0	0
本年度末現金・預金残高	0	0	0

平成17年度について

資産合計は約6億円の増加、資産・負債差額も同額の約6億円の増加、業務費用は約28億円の減少となりました。

主な要因はエネルギー港湾施設工事費の減少によるものです。

留意点

特になし

主な増減内容

- 貸借対照表
 (資産) 有形固定資産の増 +1億円
 その他の資産…たな卸資産の増 +3億円
- 業務費用計算書
 エネルギー港湾施設工事費の減 △30億円
- 資産・負債差額増減計算書
 本年度業務費用合計と財源合計との差額
 4億円(上記(A)+(B)により算出)
 ⇒企業会計の「当期純利益」に相当
- 区分別収支計算書
 前年度剰余金受入 △6億円
 エネルギー港湾施設工事費による支出 △10億円
 鉄鋼港湾施設工事費による支出 +2億円